



「E-NEWS むらやま」で検索または 右記二次元コードから、バックナンバーも見ることができます。

令和7年度村山教育事務所研修 第3回学習指導力向上研修会 令和8年1月26日(月)

## 『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて

～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実について再考する～

＜講師：山形市立蔵王第二中学校 教頭 鈴木 貴子 氏＞ ＜協力・会場校：天童市立第一中学校＞

これからの学校教育において、「一人ひとりを大切にする学び」と「共に学ぶことの価値」をいかに両立させ、往還させていくかは、私たち教員にとって大きな課題であり、同時に大きな可能性でもあります。

本研修会では、公開授業＜国語・数学・社会・理科・保健体育・特別支援部会＞と講師の鈴木貴子氏による対話型研修を実施しました。県内外から86名の方に御参加いただき、自ら学びを調整する生徒の姿や声に立ち返りながら、「協働的学習と単元内自由進度学習の往還」「生徒と教師の内省の往還」の大切さを学ぶ機会となりました。



天童市立第一中学校 研究テーマ

### 「良き学び手」の共創～生徒と教師の内省の往還～

学び方

#### 協働的学習

- 1 資質・能力の明確化  
身に付けたい資質・能力について、生徒と共有し、生徒がメタ認知する。
- 2 単元構成と本時の工夫  
自分の力で考えを形成した後に、他の生徒と意見交流やICTを用いて、比較や合意形成を進め、考えの視野を広げる。

#### 単元内自由進度学習

- 1 自己調整  
単元を貫く課題の提示とガイダンスを受けて計画を立案し、主体的に単元の学習に臨む。
- 2 内省  
毎時間の学習内容を踏まえて、自身の学びを省察することで、学びの調整を行い、探究を深める。

＜大切にしたいこと＞

子どもに学びを「適切に」委ねること

往還

方向性を揃えながら、スピード感をもって、前向きに校内研究に取り組み、学校全体の士気が上がった。  
(天童一中より)



対話型研修

#### 生徒

- ・授業では、「分かった」「できた」で終わりにしたくない。その先があると思う。今だけでなく未来のことを考えていきたい。
- ・振り返りがきれいごとになってしまう。授業で分かったことや気付いたことだけでなく、もっと考えたいことやこれから挑戦したいことも書きたい。予想や仮説に対する考察を書きたい時もある。 など

#### 教師

- ・生徒の声に耳を傾け、その声を日々の授業に反映させアップデートする意識を常にもちたい。
- ・振り返りについて再考したい。ただ、学習したいことを振り返るのではなく、「何をどのように学んだか」「学習の中での自分の変容」「これからの学習、他の教科や生徒へのつながり」などを自分の言葉で語れるようにしたい。 など

＜大切にしたいこと＞

子どもの声をきき、子どもと共に授業を創ること

往還

授業をブラッシュアップし、日常の授業に反映させる『教師の学びの姿』が見られるようになった。  
(天童一中より)



### 【学校教育関係】

◇令和7年度 文部科学大臣表彰  
(学校保健表彰)

上山市立宮川小学校  
学校医 原田 一博  
寒河江市立柴橋小学校  
学校医 折居 和夫

(第18回 キャリア教育優良学校)  
村山市立富並小学校

☆文部科学省HP  
「キャリア教育」のページに、取組みの様子が掲載されています。



◇令和7年度 山形県健康推進学校

(最優秀校) 山形市立村木沢小学校  
(優秀校) 山形市立第七小学校  
天童市立成生小学校

◇令和7年度 山形県学校給食優良学校等

上山市学校給食センター

### 【社会教育・社会体育関係】

◇優良PTA山形県教育委員会表彰

山形市立大郷小学校PTA  
山形市立第七中学校PTA  
尾花沢市立福原中学校PTA

## 令和七年度各分野の受賞団体等一覧

◇子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体に対する文部科学大臣表彰  
(学校) 村山市立袖崎小学校

◇全国自作視聴覚教材コンクール

(優秀) 柴田 元二 氏 (映像)  
東根市商工会女性部 (紙芝居)  
折原 由美子 氏 (紙芝居)  
(入選) 川村 陽子 氏 (紙芝居)  
村形 啓行 氏、村形 隆子 氏 (紙芝居)  
黒田 英昭 氏 (紙芝居)

◇山形県自作視聴覚教材コンクール

(児童生徒作品部門 最優秀)  
東根市立高崎小学校  
5年 岡田 大駕 さん (映像)  
山形県立東桜学館中学校  
3年 松田 蓮音 さん (映像)

(社会教育部門 最優秀)

柴田 元二 氏 (映像)  
折原 由美子 氏 (紙芝居)  
しばはし地域づくり委員会 (かるた)

◇日本スポーツ少年団顕彰

山形市スポーツ少年団

◇令和7年度生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰

徳内ふれあいスポーツクラブ (村山市)

地域を舞台に、企画・運営に Challenge!!

郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業

## 「やってみたい」を「カタチ」に!! Start!!



この事業は、公民館を拠点とし、中学生が小学生向けに、「地域の良さを体感できるプログラム」を企画・実践するものです。東根市教育委員会が大富公民館を拠点として、来年度のプログラム実施に向けて、事業をスタートさせました。



東根市立大富中学校から3名の参画者を迎え、第1回企画会議を実施しました。地域公民館の役割や大富公民館の事業内容及び運営、公民館の施設について大富公民館副館長より説明をいただき、自分たちがどんなことができそうか、想像を巡らせながら考えていました。今後、企画会議を重ね、企画を立案していきます。

この「Challenge」を決意した参画者が、地域を舞台に、様々なヒト・モノ・コトとのつながりを紡ぎながらプログラムを企画・運営する中で、地域への関心を高め、いずれ地域活動を担う存在へとつながってほしいです。また、そうした中学生の姿を見た仲間や小学生が、自分たちも「やってみたい」と関心をもつなど、この活動が学びの循環を生み出すきっかけとなることを期待しています。

変化に対応し 未来を切り拓く力を育む学校を創る

## 令和7年度 学校経営計画指導訪問校の取組み ③

学校経営計画指導訪問は、「学校教育指導の重点」を踏まえ、教育課題・学習指導等について協議を行い、学校教育の一層の充実を図ることを目的に実施しています。訪問させていただいた学校では、明確な経営方針のもと、児童生徒や地域の実態に基づいて教育活動を精選したり、児童生徒に寄り添い、家庭・地域と連携・協働して、安全・安心な風土の醸成を図ったりしながら、多様な学習機会を提供し、一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細かな指導を進めていました。今回は、3つの学校の特色ある取組みを紹介します。

【山形市立第十小学校】 校長 樋渡 美千代 訪問日 令和7年10月21日(火)

### ◆ しなやかな心とたくましい実践力をもち、徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 研究主題「聴き合い、支え合い、学び合う子ども」のもと、子ども同士が協同的に学ぶ授業を推進している。楽しみながら集中して取り組めるような「やりがいのある課題」を設定し、子ども同士が足りない支え合いの中で、安心して学ぶことができる授業を目指している。
- 互いに関わり合いながら活動するよさを実感したり、自ら考え、判断し、挑戦したりする心の育成を目指し、特別活動において子どもが企画・立案する活動(「ハッピータイム」)を毎週水曜日の昼休みに実践している。教師は活動の場をつくることに徹し、「支える」生徒指導を意識して取り組んでいる。

【西川町立西川小学校】 校長 林 敏幸 訪問日 令和7年11月17日(月)

### ◆ ふるさとを愛し、進んで学ぶ、心も体もたくましい児童の育成

- 15年間で育成を目指す資質・能力を明確にした、保小中一貫教育(西川学園)を推進している。保小中合同研修、日常的な保育・授業参観、保小中及びSC・SSWC等と連携した子ども理解など、西川だからこその環境(人・もの・こと)を存分に活かした教育活動を展開している。
- 「わくわくチャレンジ」の合言葉のもと、自己決定する機会を保障し、児童の思いや願いを大切にしたいことを叶えられる学校づくりを推進している。そのための環境づくりとして、「自由度を保障した学び」「学校経営への子どもの参画」「安心できる居場所づくり」に取り組んでいる。

【村山市立西郷小学校】 校長 佐藤 淳 訪問日 令和7年11月25日(火)

### ◆ 自分で考え たくましく しなやかに 行動する力の育成

- 教科の見方・考え方を働かせて、教えるところと多様な考えを引き出すところを職員間で共有し、確かな学力の向上を目指している。単元の中で、振り返りの視点や次の学びにつながるような振り返りの場面を吟味し、「できた」「わかった」「やった」を実感できる授業を実践している。
- 生活科、総合的な学習の時間、特別活動等、学校の教育活動全体において、地域を知り地域に愛着をもつ活動に取り組んでいる。豊かな農業体験による食育教育や大学生とのワークショップによる体験活動等、地域の素材や外部人材を積極的に活用し、子どもの探究活動を推進している。

今年度の学校経営計画指導訪問への御協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

## 一人ひとりの幸せを、みんな(学校・家庭・地域)で考える

令和7年度人権教育推進事業 東根市立大富小学校・大富中学校の取組み

人権教育は、すべての人が生まれながらにもつ「人間らしく生きる」権利(人権)を理解し、尊重し合える社会を実現するために不可欠です。そのためには、**学校、家庭、地域社会が一体となり、人権意識を培うために人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にされた教育の充実が大切**です。

東根市立大富小学校・大富中学校では、「大富っ子構想」をもとに、小中連携による「あいさつ活動」や「花いっぱい活動」、小中合同避難訓練等の防災教育を推進してきました。今年度は、文部科学省の人権教育推進事業の研究指定を受け、「**ウェルビーイング(個人の幸せ・仲間の幸せ・地域の幸せ)**」を中核に据えた**人権意識の向上**を図ろうと、様々な活動に取り組みました。その中のいくつかを紹介します。

### 学校・家庭・地域の知見を集結！ハリウリサ氏&高橋なんぐ氏による教育講演会

中学校区には小学校が一つという特色を生かし、**学校運営協議会の合同開催**を導入し、人権教育を重点熟議項目に据えました。特に、人権教室の講師選定に地域の知見を活かし、二人の外部講師を招聘しました。「笑い」や「実体験の告白」を入りに、多様な背景をもつ人々が「自分らしく生きる」ことの尊さを学び、差別的な視点を払拭することがねらいです。子どもたちは、二人の力強いメッセージに応えるように、真っすぐな視線を講師に注いでいました。



ハリウリサ氏



高橋なんぐ氏

- ・自分と違う性の在り方や生き方を尊重したいと思いました。また、男女どちらも活躍できるようにしたいし、LGBTQやジェンダー平等の考えを未来の子どもたちに伝えたいと思いました。(5年生)
  - ・性別は男女の二つだけでなく、体や心などの区別もあることが分かりました。ハリウリサさんが歌った「ヴィルマ」という曲は、異文化の人たちとの交流の大切さ、親のあたたかさに共感する曲でした。(中学1年生)
- 【子どもの感想より】

### 学びを自分事に！教育講演会と連動した授業での取組み

6年生の教室では、「自分とは違う感性をもつ人にどう接するか」ということを考える授業が行われました。教育講演会により、子どもたちはいろいろな性や考え方があることに気付くことができました。講師の言葉を思い出して、個人で考えを深めたり意見を交流したりすることで、集団における人権意識を自分事としてとらえ、他者とともに幸せに生きるための具体的なふるまいをイメージすることができました。



- ・自分にはない感性をもっている人がいても、みんなが安心できる環境づくりを心がけたい。自分だけでなく、みんなが平等に楽しめる行動をしたい。(6年生)
- 【子どもの感想より】

### 人権意識を日常へ 取組みが結んだ心の変化

- ・Q-Uアンケートでは、「自己受容・自己理解」の項目で全国平均を上回り、自分を認め、大切にすることを育ちが客観的なデータとして表れました。
- ・子どもたちは、単に知識を得るだけでなく、自らと対話し、「自分は無意識に偏見や差別などをしていられるかもしれない」と内面の感情に気付くことができました。現在は、「**勇気をもって行動に移そう**」という成長過程にあり、そんな自分自身と真剣に向き合っている子どもが多く見られました。
- ・今年度の実践を「大富モデル」として継続し、今後は特に小学校低学年の発達段階に応じた工夫を重ね、人権教育のさらなる充実を目指していきます。

文部科学省は、本事業の取組みの普及・啓発を図り、人権教育の参考資料として活用できるよう、**人権教育アーカイブ**への掲載を予定しています。大富小学校の授業の様子が掲載される予定ですので、ぜひ御覧ください。